

がん感染症疾病対策課感染症対策係
担当 中山 長藤
直通：092-643-3597
内線：3066

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和7年第12週（令和7年3月17日～令和7年3月23日）

福岡県感染症情報センター

■ コメント

- 第12週は、百日咳の報告が32件ありました。本疾患はいずれの年齢でもかかりますが、特に小児に多く見られます。感染経路は、患者の咳やくしゃみ等のしぶきによる飛沫感染や、感染者との接触による感染とされています。潜伏期間は5～10日程度で、風邪様症状がみられ、徐々に咳が強くなっていきます。1歳以下の乳児、特に生後6ヶ月以下では重症化しやすく、亡くなる場合があります。手洗いや適切なマスクの着用、咳エチケット等基本的な感染対策をするとともに、予防にはDPT-IPV-Hib五種混合ワクチンが有効です。生後2か月から定期接種として受けられますので、詳しくは、お住まいの市町村の予防接種窓口までお問合せください。
- 福岡県感染症情報ホームページ(https://www.fihs.pref.fukuoka.jp/~idsc_fukuoka/)では、感染症発生情報、病原体検出情報などをご覧になれます。

■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	16	152	235	2,617
レジオネラ症	1	12	35	346
アメーバ赤痢	1	6	8	97
カルバペナム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	21	33	384
急性脳炎	1	10	3	163
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	22	29	390
後天性免疫不全症候群	1	6	9	144
侵襲性肺炎球菌感染症	4	42	67	1,087
梅毒	13	186	181	2,672
百日咳	32	230	561	3,574

■ 定点把握疾患報告数

：警報レベル

：注意報レベル

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	512	2.60	0.75	18,927	3.85
インフルエンザ	306	1.55	0.78	10,960	2.23
RSウイルス感染症	323	2.71	0.86	4,611	1.48
咽頭結膜熱	50	0.42	0.70	883	0.28
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	389	3.27	1.05	7,273	2.33
感染性胃腸炎	1,315	11.05	0.92	34,609	11.10
水痘	34	0.29	1.31	844	0.27
手足口病	6	0.05	0.40	147	0.05
伝染性紅斑	56	0.47	0.75	2,516	0.81
突発性発しん	33	0.28	1.50	670	0.21
ヘルパンギーナ	0	0.00	－	37	0.01
流行性耳下腺炎	4	0.03	1.33	121	0.04
急性出血性結膜炎	3	0.12	3.00	39	0.06
流行性角結膜炎	16	0.62	1.23	625	0.89
細菌性髄膜炎	0	0.00	－	7	0.01
無菌性髄膜炎	2	0.13	2.00	13	0.03
マイコプラズマ肺炎	8	0.53	8.00	138	0.29
クラミジア肺炎	0	0.00	－	2	0.00
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	5	0.33	0.71	91	0.19

※新型コロナウイルス感染症について、現在、警報・注意報の基準値は設定されていません。